

F REPORT

筑紫女学園報

No. 97

2019 FEBRUARY
2019年(平成31年)2月19日

Special Issue

幼稚園 [戸田清章氏・池上ケイ氏・八谷俊一郎園長 特別鼎談]

筑紫女学園大学附属幼稚園

創立50周年に向かって

- 大学/ボランティア活動インタビュー
- 中学・高校/女子第30回全国高等学校駅伝競走大会 報告
- 新たな中期計画「筑女プラン2023」について
- 人事・寄付情報
- 法海(こころに響くことば)

その教育 しなやかで、ゆるぎない。
学校法人 筑紫女学園

<http://www.chikushi.ac.jp>

筑紫女学園



Special Issue

幼稚園

[戸田清章氏・池上ケイ氏・八谷俊一郎園長 特別鼎談]

筑紫女学園大学附属幼稚園

創立50周年に向かって



間もなく創立50周年を迎える筑紫女学園大学附属幼稚園では、大きな節目に向けて、保護者の皆さまのご理解を得つつ、様々なプランが少しずつ動き始めています。そのひとつである「園歌」が、いち早く完成。制作者であり、在園児・卒園児の保護者でもある戸田清章氏、池上ケイ氏ご夫妻と八谷俊一郎園長とで、園への想いをお話いただきました。



子どもを中心とした教育のもと 楽しく、たくましく、小学生へ

八谷 息子さんたちは今日も響流(こーる)の森で元気いっぱいに遊んでいましたよ。派手に転んでも平気な顔をしていたので感心しました。

池上 私がいたら「ママ～」って泣いたかもしれませんが、そうやって成長するんだと思います。園生活が楽しくてたまらないみたいです。

八谷 当園は「子どもが一番、子どもが真ん中、子どもに真っすぐ」というスローガンのもと、遊びを中心とした教育だからでしょうね。それを「不易」の部分として長年堅持してきました。先生方は「こういう風に育みたい」というゴールを明確にして、そこへ向かうように導いています。そのためには、子どもたちが自ら興味を持ちそうな仕掛けをあちこちに用意しておくことが大切なんです。

戸田 楽しい遊びの中に学びがある。筑女の先生方は、それがとてもお上手だと思います。

池上 おかげで、筑女幼稚園を卒園した長女は遊ぶのがとても上手なんです。好きなものを見つけて自分のものにしていくことに

長けていると感じます。それに、自由な園生活だったので、小学校のチャイムや机についての学習が新鮮らしいんです。だからでしょうね、筑女幼稚園出身の子は、先生の話も熱心に聞くといわれることが多いんですよ。



八谷 うれしいですね。幼稚園と小学校との教育スタイルの違いから問題行動を起こす「小1プロブレム」が問題視されていますが、それを聞いて安心しました。実は、2017年3月に改訂された幼稚園教育要領で示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と、当園が伝統的に行ってきた教育活動を照らし合わせたところ、子どもたちにとって必要な活動をバランス良く網羅できていたことが分かり、自信を深めています。また、

日々の教育活動の意味を改めて認識することもできました。

創立50周年の節目のプランは 子どもたちを笑顔にするものを

池上 伝統といえば、もうすぐ創立50周年ですね。大きな節目に向かうタイミングに園歌が誕生し、春には待望の新園舎が完成します。他にも創立50周年のプランがあるのでしようか。

八谷 まだ具体的ではありませんが、記念誌のようなものの制作の他、日ごろ読み聞かせに使っている絵本作家さんにお話しいただく会や音楽会などを考えています。今から保護者の皆さんや教職員に向けて、早めに計画を立てるように伝えている段階です。とにかく、節目に際し、子どもたちが喜ぶことをしたい。その思いです。

ありがたいご縁につながり、 歌い継がれていく「園歌」が完成

八谷 筑紫女学園には1917年に作られた



Special Issue

特集



戸田 清章 (とだ・せいじ)

音楽制作、音楽出版・著作権管理を主な業務とする「株式会社ソリッド・サウンド・ラボ」「株式会社日本芸能文化社(JECC.inc)」代表取締役。サウンドプロデューサー、レコーディング&ミキシングエンジニア。2000年から日本の音楽業界の第一線で、ポップス、ロックバンドからアイドル、ゲーム音楽からアニメの劇伴、CM・映画音楽に至るまで幅広いジャンルのメジャー音楽を数多く手がける。2014年に東京から福岡に拠点を移し、日本だけでなくアジア圏での音楽事業を始める。らいおんぐみ(お父さんの会)にも積極的に参加している。



池上 ケイ (いけがみ・けい)

歌手として2006年にメジャーデビューし、翌年にリリースした「Grow」がフジテレビフラワーセンターのイメージソングに。日本テレビ系「スッキリ!!」にて取り上げられるなど、話題に。2nd、3rdシングルを立て続けにリリースし、数々の野外イベントやフェスに出演。4thシングルはフジテレビ系星ドラの主題歌にタイアップされ、注目を集める。2009年以降は作詞、作曲家としての活動も開始。現在は戸田氏と共に福岡在住、3児の母。



八谷 俊一郎 (はちや・しゅんいちろう)

筑紫女学園大学附属幼稚園園長。福岡教育大学教育学部卒。1972年4月に春日市内の小学校に勤務後、外務省派遣で香港や上海、福岡教育大学附属小学校で教壇に立つ。1995年から2009年3月の退職までに、3校の公立小学校校長を歴任。この10年間の間に、福岡県の教育行政にも携わる。2010年9月から筑紫女学園に奉職し、2014年4月より現職。



校歌があるのですが、幼稚園児には高度過ぎるので、園児でも理解できる優しい園歌があるといいなと思っていました。在園中も卒園してからも折に触れて歌い、「これが私たちの歌だ」「私が通った幼稚園の歌だ」という思いを持ち続けてほしいと考えていたんです。小学校や中学校、高校の校歌と同じように、幼稚園の園歌も世代を超えて歌い継がれていくものだと思います。

戸田 そもそも音楽は表現方法のひとつですし、何かを伝えるツールでもある。学び舎の歌は、歌うと当時の思い出が鮮やかに蘇りますよね。

池上 私は、曲を作るにあたって、響流の森へ元気に歩いていく子どもたちの姿をイメージし、松井五郎さんの素晴らしい詞に導かれてメロディを紡ぐことができました。

八谷 池上さんがシンガーソングライターだと知り、まずは打診させていただきましたが、松井さんに詞を書いていただけは。

池上 園歌を作らせていただくのはとても光栄なことですが、私にとっては畑違いの

ジャンルだったので、過去にも校歌を書かれている松井さんのお力を借りようと考えたんです。上の子が初めての劇遊びで、松井さんが書かれた曲「勇気100%」に合わせて踊った時の感動がパッと蘇ったんですよ。

八谷 受けてくださる前に、私の本気度をしっかり確認されましたよね[笑]。

池上 ええ、松井さんをお願いするからには、と[笑]。ただ、松井さんは次の世代に残る作品づくりを大切にしていられるので、引き受けてくださると確信していました。だからこそ、園にも来てくださったんです。

八谷 お会いしたらとても気さくな方で、何よりも話される言葉の重みや物事の捉え方、発想が素晴らしいと感服しました。

戸田 今、第一線で活躍している音楽クリエイターの友人たちがアレンジをしてくれていますが、彼らのおかげもあっていい仕上がりになったと思います。「うちの子の幼稚園で音楽が必要なときは頼むよ」なんて言いながら引き受けてくれました。人と人とのつながりって、ありがたいですね。



八谷 本当に。ご縁の賜物、「縁歌」ですね。

「大好きなものを見つけていく
君たちこそが宝物」という想いを



池上 松井さんから届いた詞をご覧になって、いかがでしたか？

八谷 響流の森や園へ続く坂道など、当園の特徴を深く理解してくださっていることが分かり、目頭が熱くなりました。輪唱できる部分をつくってほしいというお願いも実現し、本当に良い園歌ができたと思っています。

池上 時代も世代も超え、この歌によって筑女幼稚園の色々なシーンが思い浮かびますよね。松井さんは、「〇〇〇 大好き」というサビの部分を変え歌にしやすいうように書いてくださったんですよ。「一人ひとりにとっての“大好き”を、たくさん見つけてほしい。それは、かけがえのないものになり、そこから人生が始まっていく。そんなみんなが、私たちにとって一番の宝物なんだよ」というメッセージが込められているんです。

筑紫学園大学ではさまざまなボランティア活動に取り組んでおります。
 今回は、西日本豪雨災害復興支援ボランティアの活動については
 大西 良先生(人間科学部人間科学科准教授)に、
 子ども応援グループ「LYKKE(リッケ)」の活動については
 LYKKE代表 中山 日向子さん(人間科学部人間科学科4年)にお話を伺いました。



大西 良 准教授
 人間科学部人間科学科

西日本豪雨災害復興支援ボランティア

2018年6月28日から7月8日にかけて、豪雨の影響で西日本を中心に河川の氾濫や洪水、土砂災害などが発生し、広い範囲で甚大な被害をもたらした西日本豪雨災害から半年以上が経過しました。

この西日本豪雨災害では、200名を超える方々の尊い命が奪われました。また今もなお、多くの人々が仮設住宅などでの生活を余儀なくされています。災害によって家族や友人を失った方、住み慣れた家が被害を受け、仮設住宅での生活を強いられている方など、被災された方々はこの数カ月の時間の経過をどのように感じているのでしょうか。

筑紫学園大学では、学生が中心となって2018年11月17日(土)に愛媛県西予市で西日本豪雨災害復興支援ボランティア活動を行ってきました。今回の活動は、筑紫学園大学と東峰村の仮設住宅で暮らす方々、エフコープ生活協同組合さんの三者がコラボレーションする形で取り組みました。

少し経緯を説明すると、2017年に発生した九州北部豪雨災害以降、筑紫学園大学は東峰村で災害復興支援ボランティアに取り組み、継続的に仮設住宅での炊き出しや住民の方々との交流活動などを行っています。またエフコープ生活協同組合さんも同様に仮設住宅での炊き出しを行っており、日頃のボランティア活動でのご縁から、今回一緒に活動に取り組むことになりました。

今回の西日本豪雨災害復興支援ボランティアでは、被災地で行われた地域の交流イベントでインドカレーと太宰府名物の焼き餅の炊き出しを行いました。交流イベントには、子どもから高齢者まで多くの方々が参加されました。参加された方々から「来てくれてありがとう。皆さんから元気をいただきました」「おいしい食事をいただき、少し気持ちがホッとしました」などの言葉をいただきました。

今後も私たち一人一人に何ができるのか、何をすべきなのかを考えながらボランティア活動を続けていきます。これからも被災された方々に思いを寄せ、共に歩んでいける存在でありたいと思います。



西日本豪雨災害復興支援ボランティアの参加者による集合写真。



交流イベントでは手作りのインドカレーと太宰府名物の焼き餅の炊き出しを行いました。



「LYKKE」代表 中山 日向子さん
 人間科学部人間科学科4年

子ども応援グループ「LYKKE」が「学生地域活動大賞」優秀賞を受賞

今回、子ども応援グループ「LYKKE」が、大学ネットワークふくおか主催の「学生地域活動大賞」にて優秀賞を受賞しました。メンバーでの話し合いを重ね、当日まで何度もリハーサルを行いました。会場では、他大学の活動についても知ることができ、刺激になりました。

今回の大会は「地域活動大賞」ということもあり、主に「LYKKE」が地域で行っている活動を紹介しました。

1つは、「地域での居場所づくり」です。これは、太宰府市内と久留米市内で行っている「子ども食堂」などです。太宰府市では、五条公民館をお借りして、「子どもふれあい広場in五条」を隔月で開催しています。対象者は、地域の子どもや大人、高齢者などです。久留米市では、フリースクールと障害者就労継続支援A型事業所の一角をお借りして、隔月で「久留米子ども食堂」を開催しています。対象者は、久留米市の学習支援に通う小中高生などです。どちらの活動も、継続して行っているため、毎月多くの子どもたちが、開催をとっても楽しみにしてくれています。

2つ目は、学習支援です。太宰府市の大町区公民館をお借りして、週1回のペースで開催しています。対象は、太宰府中学校区や、適応指導教室、子ども支援センターなどから紹介を受けた子どもたちです。活動内容は、宿題の見守りだけでなく、地域の方による折り紙教室、大学生が行う英会話教室などの体験学習です。

どの活動においても、私たちが一番大切にしていることは「体験のプレゼント」です。さまざまな事情から、家庭ではなかなか体験できないことを体験してほしいと考えています。例えば、「子どもふれあい広場in五条」では、手作りの家庭料理を食べたり、大学生がダンボールハウス作りの体験を企画したりします。「久留米子ども食堂」では、家族だんらんをイメージしてみんなでホットプレートをつまみ、たこ焼きなどを作ります。学習支援でも、多くの体験学習を行っています。子どもたちが、私たちの活動を通して、1つでも多くの体験をし、たくさん経験を積んでくれたら、と思います。



「久留米子ども食堂」にて、たこ焼きを子どもたちと作りました。



LYKKEが「学生地域活動大賞」にて優秀賞を受賞！写真は人間科学部人間科学科4年の浅野 緑さん(左から2番目)

陸上部(長距離)が 高校駅伝の全国大会に出場!

筑紫女学園高等学校 陸上部が
女子第30回全国高等学校駅伝競走大会に出場しました。
たくさんのご声援をいただき、ありがとうございました。
今回、高等学校陸上部監督 長尾育子先生より
福岡予選、全国大会での戦いの手記を寄稿していただきました。

今回のチームは、前年「全国高等学校駅伝競走大会」5位になったメンバーから御崎一人が卒業し、その穴を埋めつつ、チーム全員がレベルアップをすること、そして確実に県大会で優勝し、全国高校駅伝で入賞することを目指して頑張ってきました。



実力者の集う1区を走るのは1年生の池田朱里選手。

県大会では、本校、北九州市立高等学校、東海大学付属福岡高等学校の三校が僅差での戦いになると予想されていましたが、絶対優勝という気持ちで当日を迎えました。1区にはキャプテン辻田を起用

し、5秒差の3位で2区飯島へつなぎました。例年がない1区のスローペースから2区も思うようにレースの主導権を握ることができず苦戦しました。しかし、3区永長、4区池田と1年生を起用し、二人とも区間賞の走りでも差を縮め、池田でトップに立ち、17秒リードし、5区市原へ襷をつなぎました。北九州市立のエース松本選手に猛追されながらも、8秒差で4年連続の優勝をすることができました。

今年の全国大会は、第30回の記念大会であり、地区代表校を含め58校が出場しました。その中で、入賞することは高い目標ではありましたが、入賞を目指して挑みました。

1区池田は緊張もあり、実力通りの走りはできませんでしたが、1年生でありながら大役を務めてくれました。2区辻田は、昨年も2区で悔しい思いをしていた経験を生かし、7人を抜き、17位で3区飯島へつ



2年連続でアンカーを務めた2年生の市原沙南選手。後続の選手の追走を振り切りゴールしました。

なぎました。混戦の中17位をキープし、4区永長へ。永長は県大会以降自信をつけ、その勢いのまま区間3位の走りで14位へ順位を上げ、5区市原へとつなぎました。アンカーとして順位を上げるため、ハイペースで前を追いつけましたが、15位でゴールしました。入賞することができず悔しさも残りましたが、選手たちは沿道から送られる声援を力にして頑張ってくれ



本校から応援団が集結し、沿道や競技場から声援を送りました。小川県知事も駆けつけてくださいました。

ました。

本当に、多くの方の応援や支えによって無事に走り切れたことに感謝しています。今後も期待に応えられるよう頑張りますのでよろしくお祈りします。本当にありがとうございました。



大会後の報告会では壇上の選手一人一人から挨拶が行われました。3年生からは最後の都大路を楽しめたとのコメントを、1・2年生からは来年の抱負を聞くことができました。

Result		
■本校の記録		
区間(距離)	走者(学年)	タイム
1区(6.0km)	池田 朱里(1年)	20分26秒
2区(4.0975km)	辻田 翔子(3年)	13分13秒
3区(3.0km)	飯島 理子(3年)	9分56秒
4区(3.0km)	永長 里緒(1年)	9分31秒
5区(5.0km)	市原 沙南(2年)	16分27秒
総合タイム		1時間9分33秒



新たな中期計画「筑女プラン2023」がスタートしました。

本学園は、浄土真宗のみ教えに基づく人間教育を建学の精神として、1907(明治40)年に設立され、爾来、幾多の変遷を経ながら女子学園として発展を続け、2018年には111年目を迎えました。この間、学園は、私学としての自主性と建学の精神に基づいた教育の独自性を存分に発揮しながら地域社会の教育ニーズに応えるとともに、幾多の優れた人材を世に輩出してきました。

一方、今日の社会は、ICT(情報通信技術)の飛躍的な発展をはじめ、グローバル化や少子高齢化が急速に進むなど、教育を取り巻く環境は大きく変化し、教育に対する社会のニーズもますます多様化しています。

このような社会状況の変革が急激に進む中で、平成29年度第15回理事会(平成29年3月28日開催)にて、7つの改革の柱による

「筑紫女学園改革指針」を策定しました。

その後、この改革指針に基づき、大学・中学・高等学校、附属幼稚園および法人本部事務局のそれぞれの機関で検討し、2018年度をスタートとする5カ年間の行動計画として、「筑紫女学園中期計画(筑女プラン2023)」を取りまとめました。

今後は、学園一丸となって中期計画に定めた取り組みを着実に推進し、その成果を積み上げていくことで地域社会の期待に応え、新しい時代にふさわしい魅力ある学園となるよう、全力で取り組んで参ります。

なお、この学園報誌面でも、進捗状況など随時発信していきたいと思っておりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

筑紫女学園からのお知らせ

人事

退職 (平成30年11月5日付)

●教育職員
高等学校

教諭 竹本光一郎

理事会・評議員会

就任 (平成30年9月10日付)

●評議員

白水 尚子

寄付(順不同)

以下のとおり、ご寄付をいただきました。誌上、お礼とご報告をいたします。

●寄付金

中川 正法 様 金額 200,000円
(大学の国内災害復興支援プログラムの支援金として)

金額 200,000円
(大学のネパール大地震復興教育支援プログラム支援金として)

筑紫女学園大学 現代社会学部
2017年度藤原ゼミナール一同 金額 146,082円
(大学のネパール大地震復興教育支援プログラム支援金として)

御笠坊守会 様 金額 50,000円
(大学のボランティア活動に対する支援金として)

筑紫女学園大学後援会 様 金額 1,850,000円
(新入生オリエンテーション補助として)

金額 1,000,000円
(大学の教育研究費の補助として)

金額 4,000,000円
(魅力ある太宰府キャンパス創出のための「カフェ」新設への補助金として)

金額 5,000,000円
(スクールバス運営費補助として)

廣徳寺 遠山 慈水 様 金額 70,000円
(大学の真宗文化調査研究プロジェクト研究費として)

●寄贈

宮川 衣枝 様 ・掛軸 一幅

法海

ここに響くことば 21

何が起るか わからないのが 世の中 何をしでかすか わからないのが 自分 本当でないものを 本当にする

自然災害や事件・事故など思いもしないようなことが起るのが、世の常だといわれます。自分の身の回りを見ても、学校や家庭の中で思いもしなかったことが起こった経験があるのではないのでしょうか。自分にとって都合が良いことばかりが起きればいいのですが、都合が悪いことが起きてしまうと大変です。『どうしてこんな目にあわなければならないのだろうか』『私ばかりが何故』などという思いを抱いたり、言葉を発したりしてしまいます。

このような言葉を、仏教では「愚痴(ぐち)」といいます。「愚痴」の心が起ると、人は、自分自身の現実を受け入れることをしなくなり、都合の悪いことを「他人」の所為にしたたり、「世の中」の所為にしたります。自分の問題として現実に向き合わず、後ろ向きになり、現実から逃げようとするのです。

釈尊は「一切皆苦(いっさいかいく)」と示されました。「すべてが思い通りにならない」という意味です。自然や世の中や他者が「思い通りにならない」のは当たり前のことですが、よく理解できるのですが、注意しなければ

ならないのは、自分自身のことです。「自分」が「世の中」を構成している主体であるにもかかわらず、何か都合の悪いことが起るとその原因を世の中や他者にばかり求めてしまいます。

「ここに響くことば」の後半部分は、外にばかり目を向けている自分の目を、内に向けることを促してはいないでしょうか。「一切皆苦」の「一切」のなかには、自分自身も含まれています。『世の中は何が起るかわからないが、自分は大丈夫だ、自分の心は確かだ』と思い込んでいる私に対して、実はそのように思い込んでいる自分こそ危ないことを示しているのが、親鸞聖人です。聖人は唯円という方と対話の中で、「縁さえあれば、千人でも殺しかねないのが私である」と語られました。人の言葉や行動は、ちょっとしたきっかけで、すぐに自分の良心を裏切ってしまう。最も思い通りにしたくて、最も思い通りにならないのが、自分自身ではないでしょうか。そのような自分の現実や世の中の問題と向き合い、自分自身を振り返り、自分から逃げない、という姿勢の大切さを教えるのが、このことばではないでしょうか。